

2009年度

科目名	観光文化論		
担当教員	薦田 光		
配当	人社1	コード	24600
開期	後期	講時	火曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	観光を様々な文化的側面から考察する。		
目的と概要	観光とは何かを理解し、観光を経済面から捉えるのではなく、人間社会に於ける観光の文化的意義を考え、又人が長年の営みによって築いて来た観光素材となる様々な文化財について学び、それ等を対象に取り入れた文化観光を体験する事によって、観光のもつ文化的価値をより深く理解する事を目標とします。		
成績評価法	学習態度、及びレポートを総合評価します。		
テキスト	特に定めず、資料及びプリントを配布し、教材とします。		
参考書	1. 観光文化論/北川宗忠編著/㈱ミネルバ書房 2. 現代観光学キーワード事典/前田勇編/学文社 3. 観光学辞典/長谷政弘編著/同文館出版株式会社		
履修に当たっての注意・助言	1. 遅刻をしない。 2. 授業中は私語・携帯電話をしない。 3. 前掲参考書 観光文化論を読む事によって、授業内容をより深く理解する事が出来ます。		
講義計画			
<p>【1】 観光とは</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 観光の概念 2. 観光の意義 3. 観光の歴史 世界史 4. 観光の歴史 日本史 5. 観光の現況 6. 観光の未来像 7. 観光の影響と効果 <p>【2】 観光の文化的側面について</p> <ol style="list-style-type: none"> 8. 観光対象(観光資源) 9. 観光対象(観光施設) 10. 世界遺産と文化財 11. 日本の文化財 12. 文化観光の様々な形態 <p>【3】 観光計画を立て体験する(受講生)</p> <ol style="list-style-type: none"> 13. 文化観光の立案 14. 文化観光の体験及びレポートの提出 15. 観光文化論(本講)のまとめ 			